

学校法人 安部幼稚園
2017年度（平成29年度）

園児募集要項

私立幼稚園は、学校教育法、私立学校法に基づいて運営されています。

学校教育法では第22条で「幼稚園教育の基本」は「環境による教育」と定めています。

私たちは、環境としての自然・文化が、環境としての人間関係を要に織りなし、子どもたちが充実した遊びと楽しい仕事のある生活を築き、感性豊かに育つように、ご家庭と協力し、保育に精進しています。

安部幼稚園は、これまで通り、学校教育法・私立学校法に基づく幼稚園として文部科学省の管轄のもと、保育(幼児教育)を続けていきます。
(幼稚園の中には、新制度に基づき、内閣府の管轄に入る園もあります。)

学校法人 安部幼稚園
横浜市港南区芹が谷4-13-26
(電話045-822-0383) (FAX045-825-0936)
<http://academic1.plala.or.jp/abe-kd/index.htm>

2017年度(平成29年度)安部幼稚園園児募集要項

子育てはご家族共同の営みです。手続きをする前に、募集要項の記載事項をご家族で読み合い、募集要項の内容を皆さんで確認して下さい。

クラス定員と募集人員

(募集状況や子どもたちの様子でクラス定員やクラス数が変わることがあります)

| | クラスの数 | 定員(各クラス) | 募集人員 |
|--------|-------|----------|-------|
| 3歳児年少組 | 4または5 | 16名前後 | 70名前後 |
| 4歳児年中組 | 3または4 | 25名前後 | 40名前後 |

募集要項・入園申込書の配布

* 10月15日(土)から10月31日(月)まで(配布時間は午前8時から午後4時まで)

入園説明会 両日とも14時30分より(1時間半程度)。当園保育室でおこないます。

* 第1回説明会: 9月9日(金)

* 第2回説明会: 10月20日(木)

○当園の教育方針を説明します。希望者はお誘い合せの上、ご出席下さい。

○説明会の後で入園や子育てについての相談も受け付けます。気軽に、お声かけ下さい。

入園申込み・受付の日時

1. 入園申込みの受付 11月1日(火) 下記のように、入園申込みを受け付けます。
申込書に詳細ご記入の上、面接手数料3,000円(おつりのないように)を添えてご提出下さい。受付にお子さんをお連れになる必要はありません。
受付の際、面接時間の用紙をお渡しします。

| | |
|------------------------|-------------|
| A: 卒園生のお子さん、卒園生・在園児の弟妹 | → 8時受付開始 |
| B: A以外の方 | → 8時15分受付開始 |

○学区は、設定していません。

○A・Bともに、7時50分に必ず来て下さい。受付番号カード(整理券)を発行します。

早く来て並ぶ必要はありませんが、受付時間に遅れないようご注意ください。

○当日、指定された列に並んだら、入園申込書提出前に、必ず、受付番号カード(整理券)をお受け取り下さい。

○申込書の提出は1人につき一部です。原則1人が複数の申込書を提出することはできません。
ただし、兄弟姉妹の申込書はこの限りではありません。

なお、一人一部提出が守られていれば 代理の方が提出することも可能です。

○お子さんの発達等に不安を感じておられる場合は、事前にお申し出下さい。

2. 入園面接の日時 11月1日(火)

○当園の入園面接はお子さんを理解するために行います。

面接は、9時30分から1グループ・1時間の単位でおこないます。

受付でお渡しした用紙に従い、指定された時刻の5分前に、お子さんと一緒においで下さい。

入園手続 *入園手続の際には、必ず、印鑑をご持参下さい。

○面接終了後、入園を許可された方は11月1日（火）10時から16時までに、下表に

記載されている入園金及び施設費をお納め下さい。同時に、所定の書類をご提出下さい。

○代理の方が入園金を納入なさる場合、「保護者が署名捺印した所定の書類」をお持ち下さい。

○当日、園に連絡なしに入園手続をしない時は入園をお断りすることもあります。また、一旦、納入していただいた入園金はお返しできません。ただし、平成29年（2017年）3月31日までに、転勤、転居のため、当園への通園が不可能になった場合は、そのことを証する書類を添付して、入園辞退届をご提出下さい。面接手数料を除き、全額をお返しします。

入園手続に際して ~我が子、そして、我が子に連なる子どもたちの“発達保障”の為に~

○私たちは、健常児も障がい児も、自らの個性を生かして、優しさ、賢さ、強さを身につけて育っていくように、教職員の体制も含め園の環境を整備しています。園長、教職員、父母が力を合わせ、統合保育を可能にするための助成制度の拡充を国県市に働きかけてきました。その成果として補助金が少しずつ充実してきました。

補助金をいただくことは、「共育ち」を願って努力してこられた方々の好意に応えることです。このような考えから、入園した皆さんには、教育条件を整えるために、補助金の交付を受けられるようご協力いただくことになっています。

○入園後であっても、お子さんの発達を保障するために専門機関との連携が必要であると園が判断した場合は、専門機関の診断を受け、必要な書類等を園に提出していただきます。

園、家庭、医療機関が、知恵と力をだし合い、どの子も豊かに育つ保育に精進していることをご理解の上、ご協力下さい。その中で、大人同士の交わりも豊かになっていきます。

園児納付金

| | | 年長組 | 年中組 | 年少組 |
|--------|----------|--------|--------|---------|
| 入園時納付金 | 入園金 | 75,000 | 90,000 | 110,000 |
| | 施設費 | 20,000 | 30,000 | 40,000 |
| 年度納付金 | 維持費 | 24,000 | 24,000 | 24,000 |
| | 教材・行事費 | 24,000 | 24,000 | 24,000 |
| 月額納付金 | 保育料 | 28,900 | 28,900 | 34,500 |
| | 父母の会費・未定 | *500 | *500 | *500 |

*年長組の合宿代（例年1,400円ほど）を除き、年度途中で、教材行事費（遠足のバス代・電車代、運動会の土産代、誕生会費等）は、一切徴収しません。

*父母の会費は新年度の父母の会で決定しますので未定です。平成28年度は500円です。会費は、父母の会の総意によって、父母の会活動を楽しく充実したものにす為、支出されています。

○保育料は年額を12等分して月額を決定しています。保育日数にかかわらず、毎月同額を、お納めいただきます。次年度の維持費・教材行事費は、当年度3月にお納めいただきます。

○お子さんの事情やご家庭の都合により保育日数に変更があっても納付金は変わりません。

○自動振替の際に銀行に振込手数料として1回毎に54円納めていただくこととなります。

○年少組は、3才の発達特性に即した保育をするために、手厚い保育を行っています。その関係で保育料等が高くなっています。

○衛生費（健康診断、尿検査等の費用）も維持費に含まれています。

○園児納付金や父母の会費は次年度に変更されることもあります。

実費納付金

○ハサミ、バッチ、自由画帳など、お子さん自身の持ち物を購入するために保育用品代をいただいています。

○暖房費や保育中の麦茶代等は実費をいただきます。年によって異なりますが、平成27年度の麦茶代は、約2,300円、暖房費は、約2,400円でした。

○絵本代等は、月々の代金を、6月には4, 5, 6月の3カ月分を、7月からは毎月の代金を、保育料と一緒に自動振替させていただきます。

○年長組の合宿に際しては実費をいただきます。平成28年度は1,400円でした。

○毎年、クラス写真を撮影します。平成28年度は600円でした。

補助金について

○教職員と父母が力を合わせ国・県・市に働きかけてきた成果として、現在、私立幼稚園にお子さんを通わせている方の教育費負担軽減の爲、幼稚園就園奨励補助制度が確立され、世帯の所得に応じて下記の補助金が交付（平成28年度現在）されています。詳しくは、横浜市にご確認ください。補助金をさらに増額させる爲に、一緒に、国・県・市に働きかけましょう。

通園方法

○人間は進化の過程で直立二足歩行する力を獲得し、強靱な足腰と自由でしなやかな手の働きを培い、文化を発達させてきました。各種の調査は、小学生からの生活習慣病的な傾向と、体力の衰えを指摘しています。その最大の原因の一つに歩かなくなったことをあげています。小児アレルギー学会でも徒歩による通学距離が長いほどアレルギーを克服する自然治癒力が培われると報告されています。歩くことは、体の発達にとってばかりではなく心の発達にも重要な意味をもちます。そのような理由から、当園では、開園以来、歩くことを大切に、スクールバスを出していません。

○平成 29 年度より、徒歩距離約 1.5Km 以内に在住の方も、原則、個人登降園とします。ただ、園の近隣にお住まいの皆さんについては、上記のような理由から、原則、徒歩通園をお勧めしています。

○保護者の方の希望で、自主グループを作って、徒歩通園することも可能です。

○徒歩距離約 1.5Km 以上の地域に在住の方は、原則、徒歩、自転車、路線バス、または、自家用車等での、個人送迎となります。

○園に登録した上で、登降園時の決められた時間帯に、正門前に自家用車を横付けすることもできます。

保育週 5 日（土曜日は休園）を実施

○国連の「子どもの権利条約」を日本も批准しています。その前文に「家族は、とりわけ、子どもにとって自然的環境」とあります。週休 2 日制をいかし、お子さんとのかかわりを豊かにしていただきたいと願っています。放課後、祝祭日、土・日曜日は行事がない限り園庭を開放しています。休日にはご家族やご近所の方々が連れだって園に遊びにきて、山羊に餌をあげたり、雑木林の中で楽しい一時を過ごされる方もいます。

○安部幼稚園の自然を地域の方々のためにも大切にしています。若いお母さんが赤ちゃんの森林浴に訪ねて来たり、お年寄りがお孫さんと散策に来ています。小学生になった卒園生が仲間を連れて幼稚園に遊びにきたり、成人した卒園生が自分が巣立った幼稚園を見せるために婚約者を連れて遊びにくることもあります。安部幼稚園は卒園生の「ふるさと」になっています。

延長保育の実施

○原則として、お弁当のある日の保育後は 17 時まで、お弁当のない日は 15 時まで、延長保育を実施しています。（1 日ごとの申込み制となります。H28 年度は 700 円/1 回でした。）

<A> 入園オリエンテーションについて

12月7日(水) 14時から15時半(受付:13時45分より)

○入園許可者を対象に、安部幼稚園の教育方針と入園までに準備していただくもの等について、説明します。

学校法人安部幼稚園について

○理事会・監事会

当園の設立者安部富士男を、大学時代から60年以上支えてくれた友人、長年、保育を共に学び合ってきた私立幼稚園園長、研究者などによって構成され、教育条件を整え、教育内容を豊かにし、安部幼稚園の保育・教育の公共性と自主性を確かなものにしていくように努力しています。

○教職員構成

*園長・安部富士男

東京大学教育学部で学校教育、特に生活教育、幼児教育・保育を研究。当園の子どもたちの姿や教師の実践に学んで保育の理論化に努め、その成果を、東京大学、横浜国立大学、山梨大学、青山学院女子短期大学、白梅学園短期大学、日本女子大学大学院、湘北短期大学、東洋英和女学院大学(以上、非常勤講師として)、日本体育大学女子短期大学(教授として)において学生に伝え、多くの著書にまとめています。

幼稚園教育の発展に大きな役割を果たしたとして、平成3年(1991年)には神奈川県から教育功労者表彰を受け、国からは、秋の叙勲で、平成4年(1992年)に藍綬褒章、平成17年には瑞宝双光章を受章しています。

*教員25名・事務3名(平成28年9月現在)

安部幼稚園では、子どもたち一人ひとりの育ちを教師集団の目で捉え合い、情熱を傾けて保育に取り組んでいます。

保育経験10年以上の教師が約半数をしめ、若い教師の良さを生かし、お互いに学び合い、力を合わせ、子どもたち一人ひとりの内面に寄り添った保育を展開しています。

各学年に担任以外の教諭や講師(有資格者)がいて、担任と協力し一人ひとりに目のとどく保育をしています。

園長・教員・事務員が、子どもたちと共にある生活を楽しみ、父母の願いに心寄せて、安部幼稚園ならではの保育を創造しています。

<C>当園の教育方針を理解するために

○保育見学：ご希望の方は、電話(045-822-0383)で、お申し込み下さい。

○幼稚園教育の基本は環境による教育：

園の環境の中には、教育への想いがこめられています。私たちは、山羊、兎、チャボ等「いのち」あるものとのかわりを大切にしています。

同時に、サクランボ、アンズ、グミ、ビワ、山桃、ブドウ、栗、柿、キウイフルーツ、蜜柑等を仲間と一緒に収穫、自然の恵みを味わったり、畑の土づくりをし大根や芋など、野菜を育てて収穫し料理づくりを楽しんだり、クワガタやカブト虫を捕まえたり、ドングリを拾って遊んだりすることを大切にしています。

そして、そこでの感動・発見・喜びを伝え合い、造形活動等、様々な表現活動を通して体験を意識化することを大切にしています。

皆さんも、園庭の四季を楽しみながら散策し、子どもの紡ぐ世界を感じ取って下さい。

○園長の著書を通して、教師と子どもたちの織りなすロマンに触れてみませんか。

園長の著書は、当園の子どもたちの姿を通して保育・教育を論じています。当園の教育方針を

ご理解いただく手がかりになるだけではなく、家庭教育のあり方を考える際の参考になると思います。安部幼稚園の豊かな自然の中で、子どもたちと教師たちの織りなす暖かい雰囲気、読者の心を和ませてくれるとの評価もいただいています。

子どもたちや教師たちの実践から学んだことを園長が綴ったこれらの著書は、多くの方々、とりわけ、子どもたちからの賜物であると感謝しています。

横浜市立中央図書館だけではなく、港南、南、戸塚などの区立図書館にも数冊おいてあるので、ご一読の上、園庭を訪ねれば、子どもたちの園生活を楽しくイメージできると思います。

＊園長の著書一覧

- | | | |
|---|-------------------|---------|
| 1 | 新装版 園だよりの作り方、生かし方 | 新読書社 |
| 2 | 子育ては子どもの心に寄り添って | あすなろ書房 |
| 3 | 子どもに強くやさしく生きる力を | 文化書房博文社 |
| 4 | 子どもが愛され理解される保育 | 国土社 |
| 5 | 新装版 幼児に土と太陽を | 新読書社 |
| 6 | 遊びと労働を生かす保育 | 国土社 |
| 7 | 感性を育む飼育活動 | あゆみ出版 |

＊「感性を育む飼育活動」は、1990年(平成2年)度日本保育学会で保育学会賞を受賞しています。

- | | | |
|----|-------------------|--------------|
| 8 | 感性を育てる保育 | 国土社 |
| 9 | ともに育ち合う保育を豊かに | 文化書房博文社 |
| 10 | 写真集・大地の詩 | 青也コミュニケーションズ |
| 11 | 入園前に読む本 | あすなろ書房 |
| 12 | 安らぎと優しさを紡ぐ子育て | 青也コミュニケーションズ |
| 13 | ちょっと気になる子の保育・子育て | 新読書社 |
| 14 | 交わりを支えに生まれた幼児教育 | 新読書社 |
| 15 | 園庭の四季 | 角川書店 |
| 16 | ぼく からだ ふたつあると いいな | 新読書社 |

<D>お子さんの写真や「つぶやき」(口頭詩)等について

園長の著書や雑誌論文などには、安部幼稚園の子どもたちの写真や「つぶやき」等が登場することもあります。また、テレビ等で園長等が話す際にも、子どもたちの姿が放映されることがあります。加えて、HPに保育中の写真や「つぶやき」等を掲載しています。

これらの映像や「つぶやき」等は、保育、子育てを多くの方々に理解していただく手がかりとして生かしていますので、お断りしないで利用させていただくことになっています。

<E>父母の会活動について

安部幼稚園では、父母の会を大切にしています。(父母の会活動への参加・不参加は自由です。)楽しい活動の中での出会いが、新しい子育ての仲間との出会いとなっています。卒園後も、支え合っている方々が沢山います。

○父母の会の母親大学では、単独で、または、父母の会同窓会(あらくさ会)や美しい地球を子どもに残す会(あすなろ会)等と共催して、公開講演会を実施しています。

○安部幼稚園の隣には、園長が自宅の一部を利用して作った『安部幼稚園地区センター』があり、在園児・卒園生のお母さん方が自由に集い合い、子育ての喜びや悩みを話し合ったり、趣味を生かして文化的な活動に取り組んだり、自然を守る取り組みの相談をしたり、お茶飲み会をしたり、子どもたちのつぶやきを採取して口頭詩集を作ったり、子育ての仲間づくりの格好の場となっています。

- 「安部幼稚園父母の会同窓会」＝愛称：「あらくさ会」（事務局は安部幼稚園地区センター内）
お父さんの幼稚園時代にできた仲間との交わりを大切に、卒園後も、学校教育の在り方、人間として母親・父親としての生き方等を話し合ったり、卒園生と一緒に鷹取山ハイキングを楽しんだり。小冊子「あらくさ」を発行したり、講演会を開催したりなど、多様な活動に取り組んでいます。
- 「美しい地球を子どもに残す会」＝愛称「あすなる会」（事務局：安部幼稚園地区センター内）
「子どもの権利条約」を、卒・在園児の父母が、身近な話題につなげて学び合っています。
- 「親と子の芸術鑑賞会」＝愛称：「かるがも会」（事務局は安部幼稚園地区センター内）
卒・在園児の父母が協力して、親子で映画や演劇、野外音楽会を楽しんだりしています。
- 障がい児を持つ親たちの自主訓練会＝「なすな会」（『さ・い・た』所属）
障がい児を持つ親たちが協力し合って、毎週金曜日に、園庭で自由に遊ぶ場をもっています。

<F>地域に「育ち合う力」を培うために

子どもたちだけではなく、大人たちも共に育ち合う力を培い合うために、在園児、卒園生の父母の方々は勿論、地域で文化活動に取り組んでおられる方、保育所、小学校、中学校、高校、保健所・医療機関、小児療育相談センターの方などと協力して、様々な取り組みをしています。

○子育て相談・入園相談

私たちは、日常的に子育て相談に応ずることを大切にしています。

「ことばが少ない」「オムツがとれない」など、心配ごとがあって相談したい方は、電話で予約して下さい。入園する・しないにかかわらず、子育て相談に応じています。

お互いの都合を相談して、日時を決めています。

***入園について、迷われていることや不安なことなど、質問がある方は、気軽にお問い合わせください。**

○公開講座

年何回か、安部幼稚園地区センターで公開講座を開催しています。12月14日(水)には、『3歳児の世界』というテーマで幼稚園と家庭とが協力することの大切さに触れます。(9時45分から10時45分まで)

○当園の自然は地域の財産（園庭開放を実施）

行事で園庭を使用している場合を除き、放課後、土・日曜日、祝祭日等にお子さんと園庭の四季を楽しんで下さい。自然の不思議な営みに心寄せ、お子さんの遊ぶ姿を見つめていると「わが子ならではの可愛らしさ」にふれることができます。お母さん同士相談し合って、放課後、園庭を利用することも可能です。お子さんの遊びを見守りながら、幼稚園の四季を楽しんで下さい。お母さん方自身も、さわやかな体験を享受できることでしょう。

* 園庭開放を利用する場合は、正門左手の掲示板をよく読みましょう。

* 山羊に、パンや菓子を与えないで下さい。

* サクランボや栗や蜜柑など園庭の果実は教材です。採らないで下さい。

* カブト虫やクワガタ虫は、捕まえたら、もといた所に、必ず、逃がして下さい。

<G>「安部幼稚園地区センター」と「子どもの園」について

父母の会を中心に、お母さん方の自主的な活動の場として、園長の自宅の一階に「安部幼稚園地区センター」があります。

また、園から徒歩2分の処に3歳未満の子どもたちがお母さん方と群れて遊ぶことのできる場として「子どもの園」があります。芝生を敷きつめたコーナーは、ハイハイやよちよち歩きの格好の場です。保育時間帯に安部幼稚園の在園児・卒園児の父母が気軽に利用できます。